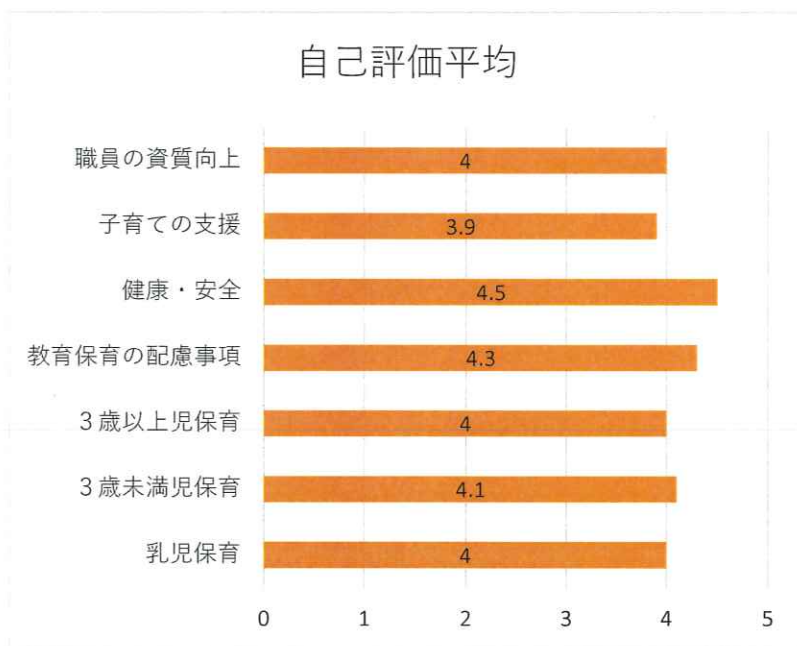


令和5年度 幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

法人名	園名
社会福祉法人ゆりかご福祉会	第二ゆりかごWEC学院
まとめ	全体平均
第2章第2節 乳幼児期の園児の保育	新年度は特に子どもの関わりや保育の仕方に気を付け、信頼関係が築き、安心して伸び伸びと過ごせるようにできた。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	自他を知り、保育者や子どもたちとの関わりを大いに持ち始める中で、気持ちを汲み取ったり、園児の思いを代弁しながら、自分を認めてもらうことで安心して生活できるように関わっていくことを心がけた。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	就学に向けて一人ひとりが自信を持って行動できるように関わり見守る様にしてきた。しかし、自分たちよりも小さいクラスのお友だちとの関わりが少なかったりしたこともあり、思いやりやいたわりの心が十分に育ませることが難しかった。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	個別の対応、関わりを重視しながら、子ども一人ひとりが安心した環境の中で生活できるように関わり、保育者に安心して受け止めてもらう中で、欲求や要求を存分に表現できるように配慮することができた。
第3章 健康及び安全	保育以外の分野や保護者支援についても、職員全体での理解や共通理解が必要だと感じる。
第4章 子育ての支援	保護者の考えを十分に受け止めながらも、子どもたちが必要とする事などしっかりと方針なども伝えていけるように心がける。
第5章 職員の資質向上	研修を増やしても、それを現場に活かしたり、職場で共通理解が必要で、個々の職員のスキルアップにならないといけない。

令和5年度	データ表
内容	自己評価平均
乳児保育	4
3歳未満児保育	4.1
3歳以上児保育	4
教育保育の配慮事項	4.3
健康・安全	4.5
子育ての支援	3.9
職員の資質向上	4
計	4.1



(園長評価)

コロナ禍や不適切保育の問題など専門職としての資質や能力について社会全体でも厳しく評価されている。子どもが主体的に活動し、保育を展開する楽しさ、喜びや充実感などを職員一人ひとりが改めて意識する事が必須であると思う。その上での働き方改革であり、保護者と連携し子どもの育ちを支えていくことが大事である。